

学生からのメッセージ

学ぶことの楽しさ

田中 拓実

(福岡歯科大学 第5学年)

「進路に迷っているなら、歯医者目指して勉強してみないか？」

高校3年生の時に、親戚の歯科医師からこう言われたときは、大きな驚



きを隠せませんでした。私の家庭は歯科医療とは無関係で、歯科医師という職業の選択肢が自分の中になかったからです。ですが、親戚の歯科医師から歯科医療について話を聞いていくうちに興味が湧いてきて、自分も歯科医師になりたいと強く思うようになり、本学へ入学しました。

入学してから実際に歯科医学を学び始めると、知らないことばかりで最初は戸惑いましたが、勉強していくうちに面白さも覚えてきました。生活していくうえで何気なく不思議に思っていた人体に関する事柄がわかったときは、とても感動しました。学ぶことの楽しさを歯科医学を通して体験できたことがとても嬉しかったです。

また、大学で出会った友人と切磋琢磨しながら勉強を進めることができることも非常にありがたく思っています。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、国家試験に合格できるように日々勉強を怠ることなく精進していきます。

保護者からのメッセージ

人生は逆境で磨かれる

石橋 敦至

(福岡歯科大学学生後援会 理事・評議員)

「歯科医師」という

目標を持って福岡歯科大学へ入学し、日々そのための勉強に取り組んでおられる学生の皆



様、一人ひとりが未来の日本の力になれるよう、出会えた先生方、同じ目標を持った先輩・後輩、友人の皆様を大切にして、学生生活を有意義なものにして頑張ってください。

昨年より続く新型コロナウイルスの影響で日々大変な思いをしながら学生生活を送っておられることと思いますが、

「苦しみや悩みは自己成長の糧」

思い通りにならない時だからこそ

「何とかしよう」と工夫し、行動し、努力して、自分自身の目標に向かって突き進んでほしいと願っております。

逆風と戦って見えてくる未来を信じて、健康にはくれぐれも気をつけ、大切な時間を過ごしてください。

編集後記

あつという間に今年も前半が終わり、暑い季節がやってきました。ワクチン接種も進んでいますが、今夏もマスクの夏となり息苦しさを感じます。残念ながら例年開催されている夏のイベント再開までは今暫くの時を要しそうですが、本誌をコロナ禍の「おうち時間」にゆっくりとお楽しみいただければ幸いです。

New Sophia コラム

ドクダミ

家の前の草取りをしていると、隣のアパートから若い男女が出てきた。ジョギングにでも行くのだろう。Tシャツに短パンという出で立ちだった。山積みになった草を指さしながら、女性がこう尋ねた。「コレモラッテイデスカ？」

「どちらから？」と尋ねると「ベトナム」と返ってきた。「シンチャオ Xin chao」と唯「知っているベトナム語で挨拶をする」と距離が近づいた。「昨年に日本に来たこと、近所には知り合いがいらないこと、しばらく故郷には帰れそうもないこと、などなど。」「サンボノカエリニ、モラッテイキマス」と言いながら走っていった。

その草というのがドクダミ。独特な匂いがあり、残った地下茎より次から次へと顔を出す厄介者。

そんな臭いとは裏腹に、ドクダミは様々な薬効を持ち、民間薬として古くから使われている。ベトナム料理では、魚料理の香草として使われるようだが、彼女たちは何に使うんだろうかと思いつきながら、目につく限りのドクダミを摘み取っていた。

(内藤 徹)

